

松枝岐 実川支流 硫黄沢 釣行記

来年再挑戦するぞ



2023年8月5日～6日

メンバー 大貫 和之 長谷部 寿一 岩戸 章朗
記 石綱 覚

今年は参加予定していた会の釣行が、雨での中止が多く、ようやく本年2回目の釣行となりました。(だけどやっぱり雨に泣かされた…)

金曜日の夜、七入の駐車場に集合し前夜祭を開催。

明日からの釣行に向けたエネルギー注入を行った。さあ、楽しんでいこう！！

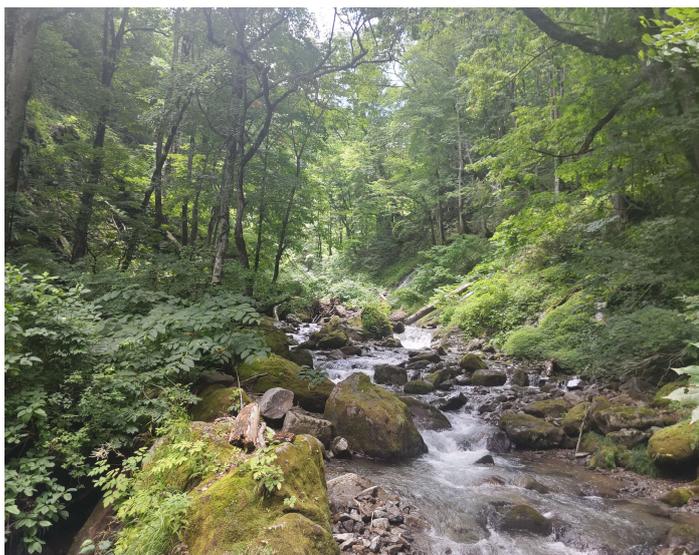
コース予定は上流部まで遡行し、道路に抜けてバスで帰ってくるコース。
私は初めてのコースということもあり、期待の中眠りについた。

8月5日（土）

林道を進み堰堤を越えた入渓点から本日の遡行を開始。

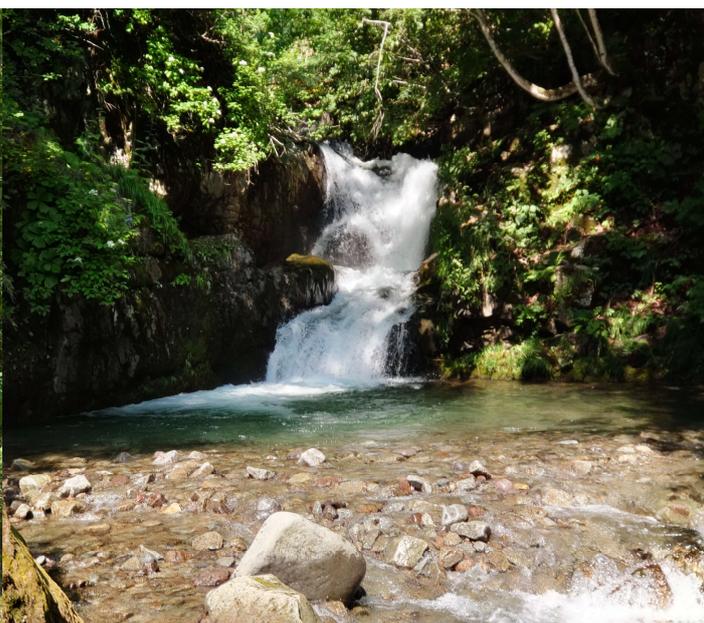
天候も良く気持ちよくスタート。

下界は30℃をはるかに超える気温で警報が出ているが、ここ桧枝岐の渓治いは
爽やかで気持ちよく遡行が出来る。いいね



今回の遡行メンバーと美しい硫黄沢の流れ

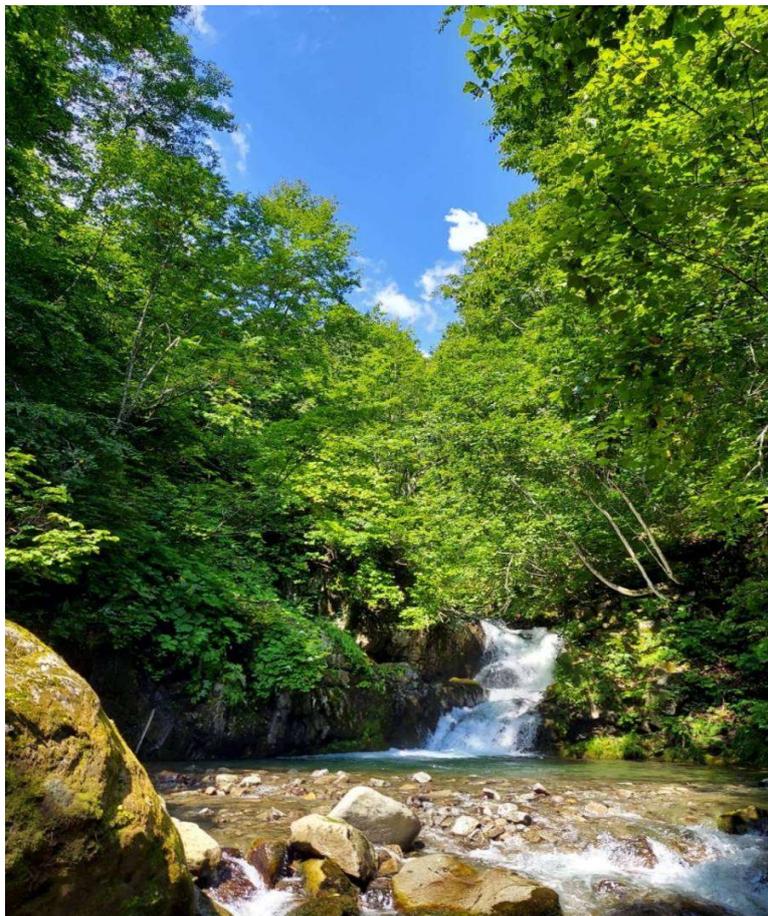
少し歩いていくと、段差の有る流れが現れる。それを遡りながら、
いくつかの小滝を越え 快適に遡行をしていく。



水量はやや少なめ



レッツゴー、皆さんなかなかの笑顔です



晴天にも恵まれました。(午前中は…)



笑顔でクリアする長谷部



余裕のピースサイン 岩戸

快適に遡行を続けながら、ここぞというところで竿を出す。
流石に溪流釣りと沢登りのメッカということも有って、当りはシブい。
まあ、魚は釣れなくても 綺麗な流れに満足。(ということにします)



華麗なテンカラライン捌きのリーダー大貫

遡行を続けるうちに 10m、12mの滝に到着。(肝心の写真がなくてごめんなさい)
去年は両滝を巻いて滝上に出るコースを取ったが、今年は 12m滝を登破すると
気合の入っている大貫リーダーを先頭に、まず、10m滝を右岸からクリア。
続いて 12mに取りつく。中断のテラスまでは大貫リーダーが、滝を左側から直登、
残る我々 3 名はロープを頼りに左岸側を登る。
そしてテラスから残りの 6~7mを見上げたが…。ここは難しいと判断。
昨年同様の、巻いてクリアするコースを取ることに変更した。

一旦下流側に戻り、巻き道を探していると北側の空から雷鳴が。空も暗くなってきた。
ゴルジュの中ということもあり、安全なところまで下ることを即決。急いで下降を開始した。
大粒の雨が降り出してきたころ、安全な高さの所にタープ一枚分の平地を発見。
そこに滑り込んで安全確保。全員ほっと胸をなでおろす。
今日はここをテンバとすることをみんなで同意し、
雨の中タープを設営、雨足は強くなったが 1.5 時間ほどで小雨となった。



急いで張った今日のテン場。慌てた感が見て取れます

テンバを取ってしまえば、あとは食事と焚火とアルコールです。
皆の自慢の料理に舌鼓を打ちながら、楽しい時間を過ごしました。



隊長の逸品 トマトカレー。美味かった！



意外と寒かったので、とても助かりました。

8月6日(日)

翌日は快晴。

テン場からそのまま入渓点まで戻ることとし、2時間程度で七入りの駐車場に到着。

昨日食べられなかった素麺をゆで、自販機で購入したノンアルで乾杯。

14時ごろ解散となりました。

今回の私の反省は下調べが足りなかった事。来年はイメージをバッチリにし

再チャレンジしたいと思います。

皆でまた行きましょう！！

来年は雨に降られませんように。

いしつな

